

## 第5学年 道徳科学習指導案

日 時 平成29年 9月28日(木) 5校時

児 童 5年1組 男17名 女16名 計33名

指導者 阿部 直樹

- 1 主題名 社会への奉仕 (C 勤労・公共の精神)
- 2 資料名 「わたしのボランティア体験」 (出典 東京書籍 希望を持って 5年)

### 3 主題について

#### (1) 児童について

核家族・一人っ子が多い現代社会で、高齢者などに関わり合う機会は少ないと思われる。しかし本学級は、半数以上の児童の家庭は、祖父母と一緒に生活している。一人っ子の児童も5人だけである。また、児童は5年生になり、日常活動や行事などで学校のために6年生と一緒に、先頭に立って行動しなければならないことが多くなってきている。高学年ということ意識して、仕事に取り組んだり、困っている友達に声をかけたりして、仕事に取り組む児童の姿が見えてきている。しかし、「自分がやらなくても誰かがやるだろう。」「休み時間までなんでやらなければならないんだ。」と考え、知らないふりをしている児童もまだみられる。

道徳の授業では、話合いの時間に自分の考えを進んで話そうとする児童が少ない。自分の考えを、すぐに口に出して言えず、押し黙ってしまう。書く活動を取り入れることにより、自分の考えをまとめ、話すことができると考える。

#### (2) 価値について

高学年の内容項目Cは「働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること」である。これは、仕事に対して誇りや喜びをもち、働くことや社会に奉仕することの充実感を通して、働くことの意義を自覚し、進んで公共のために役立つことに関する内容項目である。この項目は、次のように発展していく。

低学年 働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。	中学年 働くことの大切さを知り、みんなのために働くこと。	高学年 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること。	中学校 [社会の参画, 公共の精神] 社会参画の意識と社会連携の自覚を高め、公共の精神をもつてよりよい社会の実現に努めること。	[勤労] 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。
--------------------------------	---------------------------------	--	---	---

生きていくには、自分の仕事に誇りと喜びを見出し、生きがいをもって仕事を行えるようにすることが大切である。働くことは、日々の糧を自ら得て自立するなど単に自分の生活の維持向上を目的とすることだけでなく、働くこと自体が自分に課せられた社会的責任を果たすという意味においても重視する必要がある。人間生活を成立させる上で働くことは基本となるものであり、一人一人が働くことのよさ

や大切さを知ることにより、みんなのために働こうとする意欲をもち、社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びをも味わうことができる。このように働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうことを通して、その意義や役割を理解し、それを現在の自分が学んでいることとのつながりで捉えることは、将来の社会的自立に向けて勤労観や職業観をはぐくむ上でも重要なことである。

### (3) 資料について

高齢者とあまり接したことがない「わたし」が、高齢者の生き生きとした動きから、高齢者への見方を変えていく。そして、ともに関わり合うことで互いを理解し、助け合うことの喜びを得ていく。

本資料は、「わたし」の気持ちの変化を追いながら「ボランティア活動は『してあげる』のではなく、共に関わり合うことで学ぶ喜びを感じ、進んで助け合っていくことが大切である。」ということに気付かせる上で適した資料である。

### (4) 指導にあたって

本校では、毎月1日を「ボランティアの日」として活動している。導入で「どのような活動をしたか、なぜしたのか」事前調査した結果を提示する。次に、高齢者へのボランティア活動を紹介し、高齢者の特性について、一緒に生活している児童の発言を中心に確認する。そして、高齢者施設とは何か、なぜあるのかについても理解させる。また、家族と離れて暮らしているので、さまざまなボランティアが施設へ訪問していることにも触れ、資料への意識付けとする。

展開では、高齢者との関わりが少ないと思われる「わたし」の、高齢者へのあまりよくない印象に共感させたい。次に、高齢者と交流しているうちに気持ちが変わっていることに気付かせたい。そして、同じ高齢者なのにボランティアをしていた高橋さんの言葉から、「ボランティア活動とは？」ということ十分に考えさせたい。また、様々なボランティア活動をしている写真を紹介しながら、この人たちは高橋さんのような考え方でボランティア活動をしているのではないかと、ということに気付かせたい。

終末では、本時の授業を振り返りながら、自分ができることはしていこうとする気持ちをもたせたい。

## 4 本時の指導

### (1) ねらい

社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役に立とうとする心情を育てる。

### (2) 研究内容に関わる具体的な手立てについて

【研究内容1】…言語活動を充実させる単元構想

「2 (4) 指導にあたって」を参照

【研究内容2】…思いをもって伝え合う言語活動

・「ボランティアの日」に行っている活動についてのアンケートを提示し、活動しているときの気持ちを思い起こさせることにより、資料やテーマへとつなげる。 【言語活動1】

・ボランティアの意義に気付かせるために、同じ高齢者（高橋さん）が、なぜボランティアをしていたのかを考えさせ、その考えを友達と交流させる。 【言語活動2】

【研究内容3】…高まりを自覚させる振り返り

・自分達ができることは進んで行おうとする気持ちをもたせるために、様々な場面で様々な人々がボランティアをしている写真を見せ、これからの生活に向けて書かせる。

(3) 展開

	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 8分	<p>1 事前調査結果を提示する。 ○どんな気持ちで活動していますか。</p> <p>2 高齢者の特性や、高齢者施設について知る。 ○お年寄りになると、体はどう変化するでしょう。</p> <p>3 課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面倒くさい。</li> <li>・早くやって、遊びたい。</li> <li>・動きが遅い。</li> <li>・耳が遠くなる。</li> <li>・目が見えにくくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の活動の様子や意識について交流し合う。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【言語活動1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と接する機会が少ない児童に、高齢者の特性や高齢者施設を確認させ、資料にスムーズに入れるようにする。</li> </ul>
	「ボランティア活動」について考えよう。		
展開 30分	<p>4 「わたしのボランティア体験」を読み、話し合う。 ○老人ホームでお年寄りを見たとき「わたし」はどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>○一生懸命ゲームをしているお年寄りを見て「わたし」はどんなことを考えたでしょう。</p> <p>◎高橋さんの話を聞いたとき「わたし」はどんなことを考えたでしょう。</p> <p>5 さまざまなボランティア活動を知る。 ○みんなどんな気持ちで活動しているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなお年寄りの人たちが、レクなんてできるのかな。</li> <li>・お年寄りの人たちとレクするのは嫌だな。</li> <li>・さっきは元気がなかったのに、頑張っている。</li> <li>・みんな楽しそうにしている。</li> <li>・さっき変に思ってしまった。</li> <li>・同じお年寄りなのに高橋さんって、すごいな。</li> <li>・お年寄りの人たちが楽しんできた。来てよかった。</li> <li>・これからも自分ができることをしていきたい。</li> <li>・自分ができることをしたい。</li> <li>・喜んでもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公が、高齢者に対してあまりよい印象をもっていないことを押さえる。</li> <li>・主人公の高齢者に対する見方が変化してきていることに気付かせる。</li> <li>・自分ができる範囲で行動しようとしている高橋さんの気持ち、ボランティアのよさなどを、ワークシートに書かせる。</li> <li>・互いの考えをペアで交流し、ボランティア活動の意義に気付かせる。 【言語活動2】</li> <li>・さまざまな種類のボランティア活動の写真を見ながら、高橋さんのような気持ちで活動しているのではないかと気付かせる。</li> </ul>

<p>終末7分</p>	<p>6 今日の学習について振り返る。 ○今日の学習で、わかったことや、これからの生活について考えたことを書きましょう。</p>		<p>・ワークシートに振り返りをさせ、自分ができることは進んで行おうとする心情をもたせる。</p>
-------------	--	--	---

(4) 板書計画

